



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学 校 だ よ り

令和6年度2月号



【新 年 度 に 向 け て】

今年度も、残り2ヶ月となりました。今年度、児童生徒一人一人が伸ばした力を振り返り、保護者の方にお伝えする懇談（高等部2年生まで）が今月予定されています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、学校では、来年度への移行がスムーズに行われるようにと、様々な活動が展開されます。ここで一部紹介します。来年度就学転入学予定の方の園や学校を訪問し、実際の様子を見たり担当の先生方からお話を聞いたりして、参考にさせていただいています。小6・中3の児童生徒は、進学予定の中学部や高等部の作業学習体験が行われます。例年、「自分たちもやってみたい、次の学部でも頑張ろう」という意識が芽生えています。また、小学部5年生は、6年生から中学部棟の教室に移動しますが、中学部棟6年生の教室を見に行き、来年度は中学部棟で過ごすことへの見通しをもち、安心して4月からの学習がスタートできるようにしていきます。また、中学部では通学体験をしています。これは3学期だけでなく、高等部進学に向けての自力通学や高等部卒業後の生活を見据えて、学期に1度、学校までの公共交通機関の利用体験をしています。高等部3年生は、卒業後の生活に向けて、移行支援会議を行っています。卒業後利用の事業所や職場の方、相談支援員等の方と卒業後の生活に向けて話をし、新たな一步を踏み出す準備をしています。そして、先生方は、学部間の引き継ぎがしっかりできるよう、学部を越えて児童生徒の様子を見合ったり、引き継ぎ会を行い一人一人の教育目標や学習の様子等を情報共有したりしています。学部を越えて児童生徒の情報共有や実践報告をし合い、学校全体で児童生徒の成長を願いつつ教育活動に取り組んでいきたいと思います。保護者の方には、いつもご支援・ご協力ありがとうございます。

（副校長 中園 陽子）

【居住地校交流・学校間交流】

今年度も、たくさんの児童生徒が居住地校で交流をしました。今年、初めての方は、ドキドキのスタートだったかと思います。「楽しかった。」「また行きたい。」との言葉を聞いています。昨年度も交流をしていて、また今年も会えたことを喜び合える子どもたちが増えています。

1年1年の積み重ねで、交流が深まっているように思います。居住地校の先生方から「また来てください。子どもたちも喜んでます。」とお言葉をいただき、地域の友達との交流が一層進んでいます。

そして、箭田小学校との学校間交流では、知的小学部3・4年生と箭田小学校4年生がお互いの学校に行きました。子どもたちは、当初緊張した面持ちでしたが、だんだんお互いに笑顔があふれ、どちらの子どもたちにとっても充実した時間となりました。箭田小学校の皆さんには、自立活動室・宿泊棟・ランチルーム等の部屋や校内も見させていただきました。

また、中学部では、体育の授業で、真備中学校の生徒と一緒にグラウンドゴルフを楽しみました。また、作業学習と一緒に取り組みました。2月に予定している中学部販売会に作業で作った商品を買に来てくれる予定です。

今後も、地域との交流をさらに進めていきたいと思います。

（A小教頭 三竿香織）

